

新彗星 Levy-Rudenko (1984t) の発見

IAU からの連絡によるとアメリカ・アリゾナ州のツーサンの David Levy は 1984 年 11 月 14.12 日 (U.T) に口径 40 cm, F5 の反射鏡で全光度 8.5 等級の彗星を発見した。また、マサチューセッツ州の Michael Rudenko は 15 cm 屈折で 11 月 15.05 日 (U.T) に同じ彗星を 10 等級で独立に発見した。この彗星の発見位置は夕方の西空・わし座の銀河の中であった。今まで、光度 8 等級の彗星は、ほとんど日本の観測者によっても捕えられている。今回も、Levy の発見より 1 日早く、日本の観測者によって独立に発見されていたことが判った。発見者は、岐阜県武芸川町の森敬明氏で 31 cm 反射鏡による眼視観測である。観測は 11 月 13.41667 日 (U.T) と、11 月 14.41667 (U.T) の 2 回で光度は等 12 級であった。そのスケッチが森氏によって東京天文台宛にポストに投函されたのは、11 月 16 日の 12 時~18 時の間で、筆者の手元に届いたのは 11 月 21 日のことであった。早速、独立発見であることを付記して IAU へ連絡したが、すでに機を失してしまい、残念ながら、第 1 発見者の名前が付かなかったのである。森氏にとっては 3 個目、日本人の発見では 43 個目にあたる。(香西洋樹)

☆ ☆ ☆

お知らせ

日本証券奨学財団研究調査助成募集

上記について、学会宛に募集要項がとどいています。趣旨は、学術文化の研究調査に従事している者に対し、その研究調査を奨励し、学術の振興をはかり、もって社会の発展と福祉に寄与することを目的としていて、対象者は、大学において学術文化の研究調査に従事している個人又はグループとし、その研究者の年齢は 55 歳以下とする。ただし大学間にまたがるグループでもよく、代表者は 55 歳以下とかぎらない。なお研究調査分野の範囲で、当学会に関係ある理学及び工学については、エネルギー問題及び環境問題に関するものを重視する。ということで、助成金の総額は 4000 万円*、申請期間は 60 年 3 月 1 日から 4 月 20 日までとなっています。関心のある方は、本学会庶務理事宛に御照会下さい。

(* 多額の経費を必要とする特別研究調査 (1 件につき 400 万円以内)、一般研究調査 (1 件につき 100 万円程度) 合わせて二十数件の予定)

日本学術会議第13期会員の候補者および推薦人について

日本天文学会は 2 月 27 日、次の方々を日本学術会議に推薦致しました。

- 会員候補者 田中春夫 (東洋大学教授)
- 早川幸男 (名古屋大学教授)
- 推薦人 杉本大一郎 (東京大学教授)
- 古在由秀 (東京天文台長)

天体観測雑誌

天文ガイド

5月号 定価420円^{税80} 4月5日発売

久しぶりに、しかも続いております
日食・月食の観測ガイド

大学や天文台でどのように使われているか
新コンピュータ・シリーズ

新しい望遠鏡光学②

セミアポクロマート

カスタム・クラフト

35cm ドブソニアンの改造

●情報ボックス ●とびつくす
●ぱとろーる……など重要データ満載

連休とともに、いよいよ 2 年にわたる天文パレードの始まりです。日食・月食・ハレー彗星・火星の接近などなど、天文ファンから、思わず嬉しい悲鳴がおこりそう。

天文年鑑1985

●携帯に便利なハンディー・B 6 判 定価500円

ワイド版天文年鑑1985

●大きく見やすいワイド・B 5 判 定価1000円

切りぬく本 **万能星座早見'85'86年版**

●企画・構成 / 藤井旭 定価690円

切りぬく本 **天体観測野帖'84秋~'86夏**

●企画・構成 / 藤井旭 定価690円

誠文堂新光社

東京都千代田区神田錦町1-5
電03(292)1221 振替東京7-128